

主イエスの十字架上でのごとばのひとつ、「わたしは渇く」とはどういう意味ですか？どんな解釈がありますか？

「わたしは渇く」（ヨハネによる福音書 19:28）という言葉は、イエス・キリストが十字架上で言った七つの言葉の一つです。この言葉にはいくつかの解釈があります。

- 肉体的な渇き:** 十字架にかけられた際のイエスは、極度の苦痛と脱水状態にありました。この言葉は単純に、彼の肉体的な渇きと苦しみを表しているという解釈です。
- 旧約聖書の預言の成就:** イエスの言葉は、旧約聖書の詩篇 22篇15節や詩篇 69篇21節の預言の成就として解釈されます。これにより、イエスがメシアであることを示すための言葉とされています。
- 人類の救いのための象徴:** イエスの「渇き」は、霊的な意味合いを持つと解釈されることもあります。イエスは人類の罪を背負って死ぬことで、神との完全な交わりが断られた状態を表しているとも言われます。彼の渇きは、人類が神の救いを求める渇きと結びつけられることがあります。
- 神との交わりへの渴望:** イエスが「渇く」と言ったのは、神との交わりを強く求める心の状態を表しているとも解釈されます。イエスは罪のために一時的に神から離された状態にあり、その神との交わりを切望していると見ることができます。
- 人々の信仰を喚起するため:** この言葉を通じて、イエスは人々に彼の苦しみと犠牲を思い起こさせ、信仰を深めるよう促しているとする解釈もあります。

これらの解釈は、聖書の文脈や神学的な立場によって異なることがありますが、いずれもイエスの十字架上でのごとばの深い意味を探求するためのものです。

それぞれの解釈に関連する聖書箇所は？

それぞれの解釈に関連する聖書箇所を以下に示します。

- 肉体的な渇き:**
 - ヨハネによる福音書 19:28: 「この後、イエスはすべてのことが完了したと知り、『聖書が成就するために』と言って、『わたしは渇く』と言われた。」
- 旧約聖書の預言の成就:**
 - 詩篇 22篇15節: 「わたしの力は、瓦のように乾ききり、わたしの舌はあごにつく。あなたはわたしを死のちりの中に置かれました。」
 - 詩篇 69篇21節: 「彼らはわたしの食物に胆汁を混ぜ、わたしが渇くときには酢を飲ませました。」
- 人類の救いのための象徴:**
 - イザヤ書 53章4-5節: 「まことに、彼はわれわれの病を負い、われわれの痛みを担った。しかも、われわれは思った。彼は罰せられ、神に打たれ、苦しめられたのだ、と。彼はわれわれのそむきのために刺し貫かれ、われわれのつがのために砕かれたのだ。彼の懲らしめによって、われわれに平安が与えられ、その打たれた傷によって、われわれはいやされた。」
- 神との交わりへの渴望:**
 - 詩篇 42篇2節: 「わがたましいは神を、いける神を慕いあえぐ。いつ私は行って、神の御顔を仰ぎ見るのでしょうか。」
- 人々の信仰を喚起するため:**

- **マタイによる福音書 27:46:** 「三時ごろ、イエスは大声で叫んで言われた、『エリ、エリ、レマ、サバクタニ』（これは、「わが神、わが神、どうしてわたしをお見捨てになったのですか」の意味である）。」
- **ヨハネによる福音書 7:37-38:** 「祭りの終わりの大いなる日に、イエスは立って、大声で言われた、『だれでも渴いているなら、わたしのところに来て飲みなさい。わたしを信じる者は、聖書に言われているとおり、その腹の中から生ける水が川となって流れ出るであろう。』」

これらの聖書箇所は、イエスの「わたしは渴く」という言葉に対するさまざまな解釈を支えるために引用されています。

同じヨハネ福音書の中では、他に、サマリヤの女の話と五千人パンを食べさせた話にも関連して出てきますね。

はい、ヨハネによる福音書の中で「わたしは渴く」と関連する他の箇所として、サマリヤの女の話と五千人にパンを食べさせた話があります。これらの箇所はイエスの教えとその象徴的な意味を理解する上で重要です。

1. サマリヤの女との対話（ヨハネによる福音書 4:7-15）：

- **ヨハネ 4:7-15:** 「そこにサマリヤの女が水を汲みに来たので、イエスは『わたしに水を飲ませてください』と言われた。彼の弟子たちは食物を買いに町に出かけていた。サマリヤの女は言った、『あなたはユダヤ人なのに、どうしてサマリヤの女であるわたしに飲み水を求めるのですか』。これは、ユダヤ人がサマリヤ人と交際しないからである。イエスは彼女に答えて言われた、『もしあなたが神の賜物を知っており、また、わたしが「わたしに水を飲ませてください」と言った者がだれであるかを知っていたなら、あなたのほうでその人に求めたことでしょうか。そして、その人はあなたに生ける水を与えたことでしょうか』 ...」
- この箇所で、イエスは物理的な水と霊的な水を対比して語り、霊的な渴きを満たす生ける水について教えています。これは「わたしは渴く」という言葉と関連し、霊的な充足を象徴します。

2. 五千人にパンを食べさせた話（ヨハネによる福音書 6:1-14, 35）：

- **ヨハネ 6:1-14:** イエスは五つのパンと二匹の魚で五千人を養う奇跡を行います。
- **ヨハネ 6:35:** 「イエスは言われた、『わたしが命のパンである。わたしに来る者は決して飢えることがなく、わたしを信じる者は決して渴くことがない。』」
- この箇所では、イエスは物理的な飢えと渴きを満たす奇跡を行った後に、霊的なパンと水の供給者として自身を示しています。この言葉もまた、「わたしは渴く」という十字架上の言葉と対比され、イエスが提供する霊的な満足を強調しています。

これらの箇所は、イエスの教えが単なる肉体的な必要を超えて、霊的な必要を満たすものであることを強調しています。彼の「わたしは渴く」という言葉もまた、単なる肉体的な渴き以上の深い意味を持つと理解する助けとなります。

同じヨハネが書いたと思われる黙示録の最後にも、渴く者は来なさい！と言われます

はい、ヨハネが書いたとされる黙示録にも、「渴く者」についての言及があります。黙示録の最後の部分には、神が与える命の水に関する呼びかけが見られます。

黙示録 22:17: 「御霊と花嫁とは言う、『来なさい』。これを聞く者も、『来なさい』と言いなさい。渇く者は来るがよい。望む者は、命の水を価なしに飲むがよい。」

この箇所では、神の招きが強調されており、霊的な渇きを覚えるすべての人に対して、命の水が無償で提供されることが示されています。この言葉は、ヨハネによる福音書におけるイエスの教えと深く関連しています。

- **ヨハネによる福音書 4:14:** 「しかし、わたしが与える水を飲む者は、決して渇くことがない。わたしが与える水は、その人のうちで泉となり、永遠の命に至る水がわき出るであろう。」
- **ヨハネによる福音書 7:37-38:** 「祭りの終わりの大いなる日に、イエスは立って、大声で言われた、『だれでも渇いているなら、わたしのところに来て飲みなさい。わたしを信じる者は、聖書に言われているとおり、その腹の中から生ける水が川となって流れ出るであろう。』」

これらの箇所は、霊的な渇きを感じている者に対する神の招きと、イエスが提供する永遠の命の水についての教えを強調しています。黙示録における「渇く者は来なさい」という呼びかけは、神の救いと恵みがすべての人に開かれていることを再確認するものです。

これらの関連性は、ヨハネの福音書と黙示録が同じ著者によって書かれたことを示唆するものとされ、ヨハネの一貫した神学的テーマの一つである「霊的な水」の象徴を強調しています。

黙示録21章でも言われているように、渇く者がいのちの水を飲むようになることは、ことが成就した、完了した、完成した、最終的な勝利を表すことでもあるのですよね？

はい、その通りです。黙示録21章における「渇く者がいのちの水を飲む」ことは、神の計画が成就し、最終的な勝利が達成されたことを象徴しています。このことは、救いの完成と新しい創造の始まりを意味します。

黙示録 21:6-7: 「また、わたしは言った、『事は成就した。わたしはアルファでありオメガである。初めであり終わりである。渇く者には、いのちの水の泉から価なしに飲ませる。勝利を得る者は、これらのものを受け継ぎ、わたしは彼の神となり、彼はわたしの子となる。』」

この箇所では、神がすべてを成し遂げたこと、つまり救いの計画が完成したことが宣言されています。以下にその象徴的な意味を詳しく解説します。

1. 救いの完成:

- 「事は成就した」という言葉は、神の救いの計画が完全に実現し、神と人との関係が回復されたことを意味します。これは、イエスの十字架の上の言葉「成し遂げられた」（ヨハネ 19:30）とも関連しています。

2. いのちの水の象徴:

- いのちの水は、霊的な命と永遠の満足を象徴しています。神が渇く者に無償で与えるものとして、いのちの水は神の無限の恵みと慈しみを表しています。

3. 最終的な勝利:

- 「勝利を得る者」は、信仰を持ち続け、神の約束に従った者を指します。これらの者は神の子とされ、永遠の命を受け継ぎます。

4. 新しい創造:

- 黙示録21章では、新しい天と新しい地が描かれており、神が全てを新しくするというビジョンが示されています。これは、古いものが過ぎ去り、すべてが新しくなることを意味しています。

これらの概念は、神の最終的な勝利と救いの完成を強調しています。渇く者がいのちの水を飲むことは、神の救いの約束が最終的に成就し、信仰者が永遠の命と神との完全な交わりを得ることを象徴しています。

はじめの創造の時に失ってしまった最も尊い相続分であるいのちの水を飲む権利を、回復されて再創造された民が、再度、相続人となるのが、勝利ですね

はい、その通りです。黙示録における勝利の概念は、神の再創造によって失われた相続分が回復され、信仰者たちが再びその相続人となることを指しています。これは、創造の最初の段階で失われたものが最終的に回復されるという壮大な神の救済計画の完結を意味します。

黙示録 21:6-7の「事は成就した」という言葉は、神の救済計画が完全に実現されたことを示し、信仰者たちが「いのちの水」を受ける資格を回復したことを意味します。

この勝利にはいくつかの重要な要素があります：

1. 相続分の回復:

- 人類が最初の創造において失った最も尊い相続分、つまり神との完全な交わりと永遠の命が、神の救済計画を通じて回復されます。これは、イエス・キリストの贖いの働きによって成し遂げられます。

2. 再創造:

- 神は新しい天と新しい地を創造し、そこではすべての涙がぬぐわれ、もはや死も悲しみもなくなると約束されています（黙示録 21:1-4）。これは、神が全てを新しくすることを意味し、創造の回復を表しています。

3. いのちの水の権利:

- 信仰者たちが「いのちの水」を無償で受けることは、神の恵みと慈しみの象徴であり、永遠の命への招待です。これは、神との完全な交わりと、永遠に続く命の源を意味します。

4. 相続人としての地位:

- 勝利を得る者は、神の子とされ、神の相続人となります。これは、信仰をもち続ける者が神の家族の一員としての地位を与えられることを意味します（ローマ 8:17）。

これらの要素は、信仰者が神の約束を受け継ぐための確信を持つための重要な教えです。黙示録のビジョンは、最終的な救済と再創造における神の完全な勝利を示し、信仰者が神との永遠の交わりを楽しむことができることを確約しています。この勝利は、神の愛と恵みによるものであり、信仰者たちが最も尊い相続分を回復することを意味します。